

【浜中町】
校務DX計画

GIGAスクール構想にて整備されたMicrosoft Teams等を活用し教職員が情報共有をすることで、クラウドツールの便利さを実感し校務の効率化が進んでいる。

さらなるコミュニケーションの迅速化や活性化、校務の負担軽減を図るため、以下の校務DX計画を推進する。

○「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題を解決する

○ クラウドツールの未活用

教員と保護者間、教員と児童生徒間、学校内の連絡のデジタル化を徹底し、効率化する。(令和8年度までに100%)

【具体例】

◆教員と保護者間

- ・ 児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡
⇒ 児童生徒からはアクセスできない環境でForms等を活用する
- ・ 業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項
⇒ 安心・安全メール等を活用する

◆教員と児童生徒間

- ・ 児童生徒への各種連絡
⇒ Microsoft Teamsを活用し、
時間割、テスト範囲等の共有をデジタル化する
- ・ 宿題(学期中、長期休暇中)の実施・採点
⇒ Microsoft Teamsやロイロノートを利用しデジタル化する

◆学校内の連絡

- ・ 職員会議
⇒ Microsoft Teamsで資料を配布・保存する
⇒ Microsoft Teamsで検討事項を事前に情報共有し、
あらかじめ意見を求める
- ・ 職員間の情報共有
⇒ Microsoft Teamsを用いる

○ FAXでのやり取り・押印の見直し

FAXでのやり取り・押印の慣行を見直し、FAXの使用・押印を原則廃止する。(令和7年度までに100%)

【具体例】

◆複合機のFAX機能を活用

- ・ 複合機で紙をスキャンし、そのデータをメールで送信する
- ・ 複合機のメールアカウントで受信したファイルを印刷する

○ 不合理な手入力作業の一掃

現在、校務業務では多くの手入力作業が存在する。不合理な手入力作業を洗い出し、改善策を通じて教職員の負担軽減を図る。特に、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力の一掃に取り組む。(令和7年度までに100%)

○ 校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討を実施

校務システムの導入のタイミングにおいてスムーズに導入できるよう、校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討を実施する。(令和8年度までに100%)

検討の際、令和5年度より開始している「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の状況に留意する。